

2019年10月31日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第10次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	おかやまけんくらしきしみずしまちいきへのこうくうちゆうさんぎょうくらすた一のじつげんにむけたけんきゆうかい		
団体名称	岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業クラスターの実現に向けた研究会		
代表者職名	理事長	ふりがな	きりのひろし
		代表者氏名	桐野宏司 <span style="float: right;">(印)</span>
ふりがな			
団体住所			
電話番号			
設立年もしくは活動年数	2017年設立		
スタッフ数	有給スタッフ 2 名・無報酬スタッフ 40 名・ボランティア等 1 名		
団体HP(あれば)	<a href="https://aerospace-kurashiki.net/">https://aerospace-kurashiki.net/</a>		
FBページ(あれば)	<a href="https://www.facebook.com/MASCinKURASHIKI/">https://www.facebook.com/MASCinKURASHIKI/</a>		
CANPAN登録 (原則必須)	なし・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">あり</span> (星 4つ) 【団体ID: 1491155907】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	事務局長補佐	ふりがな	やはぎゆうた
		担当者氏名	矢萩佑太
郵送物送付先住所			
担当者電話番号 (極力携帯番号)			

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN登録	有・なし(予定 月 日頃)
-------------------	--	--------------------	---------------

申請事業の内容

9月未 AM/PM

事業名 (プロジェクト名)	第2回ドローンフェスティバル in 真備
事業概要 (事業内容を簡単に)	倉敷在住の小中学生とその家族に向けて、ドローン教室を開催します。 実施内容として、プログラミング体験・操縦体験・撮影体験の3つを予定しています。
活動(予定)期間	2020年 2月 15日 ~ 年 月 日
活動(予定)場所	ドローンビジネスラボラトリー(倉敷市真備町有井1612-1)
受益者数	直接受益者(150名) 間接受益者( )名 ※いる場合
<p><b>事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入)</li> <li>・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか</li> </ul> <p>真備町の復興支援の中でMASCができる活動として、MASC内のノウハウを活かし、特に真備町の子どもたちが真備町で学び、親子で楽しめる機会を創出します。</p> <p>参加者の子ども同士で学校や学年を超えて、興味・関心でつながる新たな友達ができることを目的とします。</p> <p>普段なかなか学べないドローンに触れることで、子どもの関心や学ぶ意欲を高める効果を期待しています。</p> <p>ドローンによる高所からの撮影で真備町の現状を空から見るができる他、ドローンは災害救助での利用等も行われていることから、倉敷市の子どもたちが防災・災害支援活動に興味を持つきっかけになるのではないかと考えます。</p> <p>真備町の子どもたちが、楽しめる雰囲気の中、倉敷市内の子どもたちとも自然に打ち解ける雰囲気を目指します。</p> <p>参加者は、真備町内の学校の通う子どもたちを優先いたします。</p>	
<p><b>事業の実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなことをいつ(回数等)やるのか</li> </ul> <p>ドローンを用いたイベントを1日に2回開催します。</p> <p>体験コースは、プログラム教室・操縦体験・撮影体験の3つがあります。</p> <p>プログラム教室では、タブレットを用いて自分で組んだプログラムの通りにドローンを飛行させます。</p> <p>ドローンの数に限りがあるため、一回当たり6人の参加とします。</p> <p>操縦体験では、障害物を避けて飛行させたりアクロバティックな動きをさせたりと、自分の思いのままにドローンを飛行させることができます。</p> <p>操縦体験で5分以内にコースをゴールできた受講者には、受講の記念として修了証をお渡しする予定です。</p> <p>撮影体験では、講師の指導の下、外でドローンを飛ばします。</p> <p>プロボで上空から地上を見ることができのほか、撮影も行うことができます。</p> <p>希望者には撮影した写真を後日お送りする予定です。</p> <p>イベントには無料で参加可能で、プログラム教室と操縦体験、撮影体験のみ有料です。</p> <p>ドローンを用いたYesNoクイズや写真撮影への参加、産業用ドローン展示の見学はだれでも自由に行うことができます。</p> <p>9月29日(日)に実施したイベントを改善し、今回のイベントを行います。</p>	

### **事業の実施体制**

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

開催場所のドローンビジネスラボラトリーは MASC 会員のモトユナイテッドが運営するドローンスクールです。当日はこのドローンスクールの設備や備品を貸していただくとともに、従業員の方にスタッフもお願いする予定です。また、MASC には他にもドローンパイロットが複数名所属しているため、サポートもしっかりと行えます。

主催 MASC

会場協力 dlab (モトユナイテッド)

講師 水子さん (cerFo) ら MASC 会員

運営協力 ボランティア

後援・広報協力 倉敷市 (まび復興だより・広報くらしきへの掲載、学校を通じたチラシの配布)

### **事業実施後の展望**

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

ドローン教室への参加によって、子どもたちのドローンへの関心が高まることを期待します。

ドローンビジネスラボラトリーでは、継続的に子ども向けの体験教室を開催します。

MASC では、参加した子どもたちが撮影した画像などの Web サイトへの掲載を継続して実施します。

また、MASC の自主事業として、2020 年春頃にドローンフェスティバルを開催し、今回参加した子どもたちが改めてドローンに触れる機会を提供します。参加した子どもたち及び保護者の皆さんに向けて、ドローンやテクノロジーに関連したニュースなどをメールで配信します。

### **その他**

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことや PR

MASC では、ドローンや IT などのテクノロジーを利活用した真備町復興に向けた取り組みを、今後継続して実施していきます。特に子どもたちの興味・関心を得られる企画により、友達づくりや地域への関わりを支援します。

プレ企画として 9 月 29 日に同様のイベントを実施し、70 名が参加しました。

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ 1 枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	465,810	
参加者負担（子ども 100 人参加：12 名*500 円、88*300 円）	32,400	参加費
合 計	498,210	

2) 本事業の支出

費 目（必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
機材のレンタル代	263,010	資料添付
講師謝金	120,000	講師 1 人 30,000×4 人×
スタッフ謝金	28,000	スタッフ 1 人 7,000 円 ×4 人
保険代	4,200	28 円 × 150 人
消耗品	22,000	資料添付
チラシデザイン	20,000	委託
チラシ印刷（30,000 枚） ※プリントパックにて試算。	41,000	
合 計	498,210	

備考欄

--